



## 2022年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月14日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東  
 コード番号 2735 URL <https://www.watts-jp.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3236  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年8月期第1四半期の連結業績（2021年9月1日～2021年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第1四半期	13,726	8.1	276	△43.7	305	△35.2	175	△66.8
2021年8月期第1四半期	12,693	△0.1	491	137.4	470	113.0	527	477.8

(注) 包括利益 2022年8月期第1四半期 144百万円 (△70.6%) 2021年8月期第1四半期 490百万円 (405.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第1四半期	13.07	—
2021年8月期第1四半期	39.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第1四半期	25,353	11,070	43.7
2021年8月期	21,340	11,222	52.6

(参考) 自己資本 2022年8月期第1四半期 11,070百万円 2021年8月期 11,222百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2022年8月期	—				
2022年8月期（予想）		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年8月期の連結業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	29,350	14.6	470	△56.7	420	△60.6	215	△73.1	16.05
通期	60,200	18.7	1,035	△38.0	955	△39.8	510	△47.2	38.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）株式会社音通エフ・リテール

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期1Q	13,958,800株	2021年8月期	13,958,800株
② 期末自己株式数	2022年8月期1Q	560,874株	2021年8月期	560,874株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年8月期1Q	13,397,926株	2021年8月期1Q	13,397,926株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(2022年8月期1Q 60,000株、2021年8月期 60,000株)が含まれております。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2022年8月期1Q 60,000株、2021年8月期1Q 60,000株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響から脱するには至りませんでした。これまでで一番山が高かった第5波は、ワクチン2回接種率が概ね60%を超えた辺りから、急速に新規感染者数が減少に転じ、9月30日をもってすべての「緊急事態宣言」が解除されました。その後も感染状況は低位安定で推移し、これまで停滞を余儀なくされていた宿泊・飲食サービス業に追い風が吹き始めた中で新たな変異種（オミクロン株）の発生によって、今後の見通しが立ちにくい状況となりました。また、2021年7～9月の実質GDP成長率は第5波と被ってしまい、再びマイナス成長に逆戻りしました。企業業績は資源価格の高止まりや円安等による輸入価格の値上がりにより、企業物価指数は11月に前年比+9.0%にまで上昇した一方で、最終製品への価格転嫁が進まず、企業収益回復への不透明感が高まりました。

このような環境のもと、100円ショップ「Watts（ワッツ）」「Watts with（ワッツ ウィズ）」「meets.（ミーツ）」「silk（シルク）」等を展開する当社グループは、収益源の多角化を図るべく、国内100円ショップ事業だけではなく、ファッション雑貨店やディスカウントショップの運営等の国内その他事業、並びに海外事業にも取り組んでおります。

国内100円ショップ事業につきましては、2021年9月1日にオンラインショップをリニューアルし、掲載商品数を約10倍の1万アイテム以上へと大幅に拡充した他、「Buona Vita」の商品も導入いたしました。また、精算業務の効率化による生産性向上等を目的にキャッシュレス専用のセルフPOSレジを一部の店舗で導入いたしました。

出店状況につきましては、通期計画の230店舗に対して66店舗の出店を行いました。また、10月1日付で100円ショップ「FLET'S」等を145店舗（うちFC5店舗）運営する㈱音通エフ・リテールの全株式を取得し子会社化いたしました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が12店舗（うちFC1店舗）あり、当第1四半期連結会計期間末店舗数は、直営が1,536店舗（195店舗純増）、FCその他が27店舗（4店舗純増）の計1,563店舗となりました。また、Wattsブランド店舗である「Watts」「Watts with」については、899店舗（74店舗純増）と全体の約6割へ拡大いたしました。

国内その他事業につきましては、心地よい生活を提案する雑貨店「Buona Vita」は当社100円ショップにおしゃれ感を補完し、事業間でのシナジー強化を目的として、100円ショップ内に委託型で1店舗出店し、22店舗（1店舗増）となりました。時間をテーマにしたおうち雑貨店「Tokino:ne（ときのかね）」は1店舗（増減なし）、生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は1店舗（増減なし）、ディスカウントショップ「リアル」は6店舗（増減なし）となっております。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA（こものや）」は、タイで41店舗（増減なし）、ペルーで16店舗（3店舗減）となりました。また、マレーシアで2店舗、ベトナムで3店舗それぞれ退店いたしました。中国での均一ショップ「小物家園（こものかえん）」は、4店舗（増減なし）となっており、自社屋号の「KOMONOYA」「小物家園」の店舗数は61店舗（8店舗減）となりました。

100円ショップ事業を営む㈱音通エフ・リテール及び㈱ニッパンを子会社化したことで、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,726百万円（前年同四半期比8.1%増）と増加いたしました。一方で、100円ショップ既存店売上高対前年同期比が97.2%と低調に推移したことや、M&Aによるのれんの計上等もあり、営業利益は276百万円（同43.7%減）、経常利益は305百万円（同35.2%減）となりました。

また、前年同四半期において当社連結子会社である㈱ヒルマー・ジャパンの事業撤退にあたり債務免除益が計上されていたため、親会社株主に帰属する四半期純利益は175百万円（同66.8%減）となりました。

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は18,442百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,392百万円増加いたしました。これは、商品及び製品が1,641百万円、現金及び預金が450百万円、受取手形及び売掛金が220百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は6,910百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,619百万円増加いたしました。これは、㈱音通エフ・リテール及び㈱ニッパンの取得に伴い新たにのれんを648百万円計上したことに加え、差入保証金が449百万円、建物及び構築物が317百万円、工具、器具及び備品が250百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、25,353百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,012百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は10,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,449百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,264百万円増加したことによるものであります。

固定負債は4,212百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,714百万円増加いたしました。これは、長期借入金が2,321百万円、資産除去債務が170百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、14,283百万円となり、前連結会計年度末に比べて4,164百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は11,070百万円となり、前連結会計年度末に比べて151百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が121百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は43.7%（前連結会計年度末は52.6%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月12日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,169,208	6,619,390
受取手形及び売掛金	2,150,910	2,371,452
商品及び製品	7,431,457	9,072,544
原材料及び貯蔵品	12,123	30,769
未収消費税等	75,956	17,486
その他	232,481	355,498
貸倒引当金	△22,483	△24,557
流動資産合計	16,049,656	18,442,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,055,446	3,765,067
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,313,149	△2,705,227
建物及び構築物(純額)	742,297	1,059,839
車両運搬具	26,266	28,037
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,833	△20,735
車両運搬具(純額)	5,432	7,301
工具、器具及び備品	3,729,454	4,687,969
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,184,361	△3,892,426
工具、器具及び備品(純額)	545,092	795,542
土地	257,800	257,800
リース資産	27,623	113,024
減価償却累計額及び減損損失累計額	△26,034	△93,412
リース資産(純額)	1,589	19,612
有形固定資産合計	1,552,212	2,140,096
無形固定資産		
のれん	12,395	659,647
その他	599,833	626,493
無形固定資産合計	612,229	1,286,140
投資その他の資産		
投資有価証券	327,430	303,131
繰延税金資産	393,390	318,486
差入保証金	2,289,987	2,739,015
その他	123,665	131,652
貸倒引当金	△7,574	△7,570
投資その他の資産合計	3,126,899	3,484,715
固定資産合計	5,291,340	6,910,953
資産合計	21,340,997	25,353,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,118,081	4,382,092
電子記録債務	3,145,453	3,251,400
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	528,247	798,858
未払法人税等	396,644	60,764
未払消費税等	129,894	173,003
賞与引当金	186,679	27,400
その他	915,676	1,377,007
流動負債合計	8,620,678	10,070,527
固定負債		
長期借入金	396,084	2,717,228
退職給付に係る負債	324,078	394,419
役員退職慰労引当金	30,223	31,319
役員株式給付引当金	93,938	93,938
資産除去債務	424,171	595,063
その他	229,683	380,850
固定負債合計	1,498,180	4,212,820
負債合計	10,118,858	14,283,347
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,354,136	1,354,136
利益剰余金	9,729,641	9,608,632
自己株式	△273,120	△273,120
株主資本合計	11,250,955	11,129,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,615	5,463
為替換算調整勘定	△38,432	△65,216
その他の包括利益累計額合計	△28,817	△59,753
純資産合計	11,222,138	11,070,192
負債純資産合計	21,340,997	25,353,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)
売上高	12,693,078	13,726,285
売上原価	7,779,596	8,423,062
売上総利益	4,913,481	5,303,222
販売費及び一般管理費	4,422,126	5,026,545
営業利益	491,355	276,676
営業外収益		
受取利息	412	544
為替差益	—	20,721
受取ロイヤリティー	1,012	512
受取補償金	41	3,483
補助金収入	1,248	12,023
その他	2,858	3,903
営業外収益合計	5,573	41,188
営業外費用		
支払利息	964	2,184
退店違約金	1,320	—
持分法による投資損失	10,590	10,149
為替差損	10,516	—
その他	3,117	504
営業外費用合計	26,509	12,839
経常利益	470,419	305,025
特別利益		
投資有価証券売却益	1,308	—
固定資産売却益	236	—
受取保険金	8,532	—
債務免除益	291,302	—
特別利益合計	301,380	—
特別損失		
固定資産除却損	1,038	164
減損損失	64,340	12,517
特別損失合計	65,379	12,682
税金等調整前四半期純利益	706,420	292,343
法人税、住民税及び事業税	93,478	57,551
法人税等調整額	85,446	59,727
法人税等合計	178,924	117,278
四半期純利益	527,495	175,064
親会社株主に帰属する四半期純利益	527,495	175,064



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	527,495	175,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,140	△4,151
為替換算調整勘定	△25,427	△15,932
持分法適用会社に対する持分相当額	△12,527	△10,852
その他の包括利益合計	△36,814	△30,935
四半期包括利益	490,681	144,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	490,681	144,128

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、四半期連結財務諸表及び期首の利益剰余金に与える重要な影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。